



講演のご案内（1～3月）

【お申し込み・参加費不要です。お気軽にお越しください】

*各対談は1時間半ほどを予定しております。その後、参加者からのご質問にお答えします。

【各登壇者紹介（内容は次ページです）】

☆五十嵐 弘志(イガラシ ヒロシ)☆

前科3犯、受刑歴のべ約20年。獄中で主イエス・キリストと出会い、回心する。「神の愛の宣教者会」の修道女との交流にきっかけに、マザー・テレサを信仰の母とする。

出所後、真の愛と赦しを実践するため、「民間非営利団体マザーハウス」を設立。以後、受刑者や出所者のケアとともに、イエス・キリストの愛を伝えている。2014年5月に、マザーハウスをNPO法人として正式に立ち上げ、現在、全国の受刑者700名以上と文通（ラブレター・プロジェクト）、出所者50名以上をサポートしながら、当事者の更生・社会復帰支援を行う。

各大学（青山学院大学、国土館大学、東京学芸大学など）、各団体（渋谷更生保護女性会など）、教会等で講演多数。その他、弁護士の要請を受けて地裁等で情状証人として立っている。



☆阿部 恭子(アベ キョウコ)☆

NPO法人World Open Heart 理事長。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了（法学修士）。2008年大学院在学中、日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援組織を設立。全国の加害者家族の相談に対応しながら、講演活動や執筆活動を行う。

著書は、『息子が人を殺しました—加害者家族の真実—』（幻冬舎新書、2017）、『性犯罪加害者家族のケアと人権—尊厳の回復と個人の幸福を目指して—』（編著、現代人文社、2017）、『交通事故加害者家族の現状と支援—過失犯の家族へのアプローチ—』（現代人文社、2016）、『加害者家族支援の理論と実践—家族の回復と加害者の更生に向けて—』（編著、現代人文社、2015）。



☆片山 徒有(カタヤマ タダアリ)☆

あひる一会（あひるのいちえ）代表、被害者と司法を考える会代表。

1997年、当時8歳の息子隼（しゅん）をひき逃げ事故で亡くす。この事故の20日後に、一旦、加害者が不起訴処分となった。再捜査を求める24万人の賛同署名を受けて捜査が行われた結果、加害者は起訴され、有罪判決を受けた。

その後、被害者支援を行う一方、法務省で行っている「被害者の視点を取り入れた教育」で、全国の少年院、刑務所にて講話や指導を担当している。最近は立ち直りプログラムに関心を持ち、国内外の少年院や刑務所でのスポーツプログラムの調査研究を行った。



☆VIP プリズムスタッフ及び協力者☆

- 会長 五十嵐 弘志（特定非営利活動法人マザーハウス理事長）
- 副会長 原田 昇（株式会社ライフテック）
- 顧問 宿谷 晃弘（東京学芸大学准教授）、佐々木 満男（国際弁護士）、
新倉 修（青山学院大学教授）、細井 洋子（東洋大学名誉教授）

☆お問い合わせ☆

電話 080-3729-0067 メール infovipprism@motherhouse-jp.org

【各イベント紹介（登壇者紹介は前ページです）】

【薬物依存との闘い】

大熊 啓介 × **五十嵐 弘志**
(元薬物依存者) (マザーハウス理事長)

1月27日(土) 14:00~17:00 (13:30 開場)
聖イグナチオ教会内・岐部ホール404号室 (定員100名)

☆内容紹介☆

薬物依存の受刑経験がある大熊さんと、家族の依頼で彼を引き取ったマザーハウス理事長による対談です。大熊さんは現在、当事者ボランティアとして、マザーハウスの活動を手伝ってくださっています。

薬物に手を出した経緯や、依存の状況、依存中の葛藤、そして薬物を止めようと思ったきっかけとその後の葛藤などについて対談します。

【陰の被害者 加害者家族】

阿部 恭子 × **五十嵐 弘志**
(World Open Heart 理事長) (マザーハウス理事長)

2月24日(土) 14:00~17:00 (13:30 開場)
聖イグナチオ教会内・岐部ホール404号室 (定員100名)

☆内容紹介☆

事件や事故の当事者は、加害者・被害者のみにとどまりません。当事者の中には、陰の被害者として加害者家族も含まれます。加害者の家族であるというだけで、ある日突然、住まいを追われ、学校を追われ、職場を追われ、人間関係が崩壊してしまうことは珍しいことではありません。

当日は、加害者家族支援、加害者の更生支援の立場から、双方の現状や課題について対談します。

【被害者 × 加害者家族 × 加害者】

片山 徒有 × **阿部 恭子** × **五十嵐 弘志**
(あひる一会代表) (World Open Heart 理事長) (マザーハウス理事長)

3月24日(土) 14:00~17:00 (13:30 開場)
聖イグナチオ教会内・岐部ホール404号室 (定員100名)

☆内容紹介☆

「被害者遺族」「加害者家族」「加害者」がそれぞれ置かれている現状や、それぞれの持つ社会での生きづらさについて、被害者支援、加害者家族支援、加害者の更生支援を行う3者が対談します。